



# NPO法人ジャパンデンタルミッション

## 海外活動報告書

場所 フィリピン共和国・カオハガン島

期間 2019年11月2日～11月6日

参加メンバー

(上段左から) 大西富子(H) 西田望(H) 倉橋朋子(H) 嶋村寿美江(H) 中谷知子(D)長谷川玲子(V)  
(中段左から) 大森愛裕(D) 高山めぐみ(H) シャ ダイアナ(D) 河合李美(H) 丸山麻耶(H)  
(下段左から) 野間貴裕(D) 梅安秀樹(D) 瀬野耕司(D) 沢田宗久(D) 志水宏光(D)



### 活動内容

11月2日

19時セブ空港に、北海道・東京・千葉・神奈川・大阪・兵庫・奈良・愛媛・広島、各地から飛行機の遅延もなく無事に到着、合流。入国時も市長からの書類もあり、無事に通過。

トッペルさんやエマさんが迎えに来てくれていた。大型タクシー・ボートを乗り継ぎカオハガン島に到着。

夕食をとり、簡単なミーティングをして就寝。



11月3日

初参加のメンバーが多いなか、リピーターと共に診療器械のセッティングなどを行いながら、順次診療を始めていく。日曜日なので、一般診療のみで、午前午後ともにのんびりとした診療。DRが8人と多い中、各自仕事を分担して抜歯・充填・クリーニングを行う。いつもなら、診療を待つ行列ができるのだが、後になってわかったことだが、11月1日はフィリピンの祝日で1日から3日の連休で旅行など出かけている人が多かったようで、パンダノン島やパガンアン島の来島が少なかったようです。



手のあいているメンバーは、診療所に遊びに来た子供たちに、歯ブラシを渡して歯磨き練習をした。

11月4日

小学校に歯ブラシ・タオルなど、沢田代表・D 梅安がドネーションをする。



DH 河合・Dダイアナ・DH嶋村・DH丸山・DH高山が保健指導、歯ブラシ指導をする。  
小学校からも、JDMへ 子供たちが歌やダンスを披露してくれた。  
他のメンバーは診療所で一般診療の治療を行った。



歯ブラシ指導が終わった小学生は、学年ごとに診療所に移動して歯科検診を行い、抜歯やシーラントを。  
小学校からもどったメンバーも加わり、一般診療と小学校検診・小学校診療を分担して行う。  
低学年のむし歯が多かったが、高学年になるほどむし歯の本数は少なく感じ、奥歯に過去に行ったシーラントが  
残っているのを見ると、保存できていることにうれしくなった。

フッ素洗口も6月から週1で高学年のみ(小学校の判断で)行っていると報告あり。

11月5日

診療最終日 診療をしながら、徐々に撤収作業・在庫確認を行う。午前中に撤収・掃除。



昼食後、自由時間 シュノーケルをしたり、ココナッツオイル作り体験をしたり各自2時間ほどゆったりと過ごす。



3時頃からJDMと島民の文化交流の運動会をポイントグ(砂浜)で行う。今回はV長谷川が新しい種目を考案してく  
れた。毎回子供たちが楽しみにしている、綱引きや玉いれ・リレー以外に、ぐるぐるバットしてからのリレーや、ビ  
ーチフラッグ、騎馬戦など。騎馬戦ができるのが、前日からミーティングで心配していたが、カオハガン島の子供

たちの運動能力はやはり高く、難なく騎馬を組むことができ、大きな笑顔であふれていた。



11月6日

3時ごろ島を出発、出発前まで降っていた雨も止み、ポートもアクシデントもなく無事に空港に到着。各自岐路に着く。

今回カオハガン島以外の来島患者が少なかったが、今まで行列を見て遠慮していたカオハガンの島民が治療に来てくれていた。以前追跡調査していた男の子が、青年になってクリーニングに来てくれた。彼は小学校のときからむし歯の少ないグループだったが、今もむし歯のないきれいなお口を見たとき、本当にうれしかった。いつか、カオハガンの島民の治療がクリーニングのみばかりになるように。

'06

A1



'10

A1



## 総括

## データ

## 治療結果

	11/3	11/4	11/5	合計
抜歯	43本	119本	37本	199本
CR	15本	11本	19本	45本
シーラント		82本	2本	84本
SC	19人	13人	5人	37人
TBI	1人	1人		2人
チェックアップ	1人	32人		33人
Dリペア	1人	4人		5人
切開		1人		1人
抜糸			1人	1人
受診者数	45人	132人	30人	207人

島別受診者	
カオハガン	52人
カオハガンスクール	83人
パガンアン	37人
カブルアン	28人
マリゴンドン	1人
バスダコ	1人
マリバゴ	1人
タボック	2人
セブ	2人
合計	207人

## リーダー総括

今回もマンパワーに恵まれ、器械の故障などのトラブルはあったものの診療は順調に進み、満足のいく活動が出来たと思います。

北海道からベテランの梅安先生始め3人に参加があり、大変貴重なアドバイスを頂きました。今後の活動に生かされると思います。

運動会を担当した長谷川さんは騎馬戦などの新しい種目を準備しており、子供達も大喜びでした。

カオハガンハウスのスタッフの協力も得て、今年の6月から小学校の高学年のみではありますが、フッ素洗口が始まりました。成果が現れるのが楽しみです。

今回参加したメンバーを始め、この活動を支えてくれた島民、カオハガンハウスのスタッフ、日本のスタッフ、全ての方に感謝致します。

有り難う御座いました。

又、島でお会いしましょう。

瀬野